

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成21年11月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872300231		
法人名	有限会社 茨城まごころ介護サービス		
事業所名	グループホーム こころ	ユニット名	さくら
所在地	〒311-2423 茨城県潮来市日の出1丁目21番地1		
自己評価作成日	平成21年7月12日	評価結果 市町村受理日	平成21年11月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	まだありません
-----------------	---------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年7月31日	評価確定日	平成21年10月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>利用者一人ひとりの個人のADL・認知レベルに合わせて、利用者の持っている能力を最大限に引き出し自立支援に努めている。 また、日常生活の中に役割がありそれぞれが意識を持って職員と一緒に取り組んでいる。 利用者一人ひとりの思いを尊重して、外出支援や趣味を生かした取り組みを行っている。 各職員の資格（看護師・栄養士・調理師・美容師）を生かしながら、利用者の対応を実施している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「人としての尊厳を保ち、ゆったり楽しくこころ豊かにその人らしく地域と共に暮らしていきま</p> <p>す」を理念に掲げ支援に努めている。 看護師や栄養士、美容師の資格を持つ職員がおり、日常生活の支援に活かしている。 地域で行っている健康いきいき体操などに参加したり、事業所の行事に地域の人々を招待するな</p> <p>ど、地域の人々との交流を大切にしている。</p>
--

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域と共に暮らしていけるような理念に基づき、ケアに取り組んでいる。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を全職員で作成するとともに玄関に掲示している。 職員は理念を利用者の暮らしにどう反映させたら良いかを話し合い、実践に結びつけている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域で行っている健康いきいき体操や、潮来おどりの饗宴、祇園祭りへ参加したり、地元芸座連・踊りの会の方々が来て、踊りや演奏を見せていただいたりしながら、地元の人々との交流をしている。	地域で行っている健康いきいき体操や潮来踊りの饗宴、祇園祭へ参加するほか演芸などのボランティアを受け入れている。 納涼祭などの事業所行事に地域の人々を招待したり、中学生の体験学習やヘルパー実習生を受け入れるなど、日常的に地域と交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地元中学生の体験学習や、ヘルパーの実習生を受け入れている。地域の認知症の方について民生委員と話し合いをしたりしている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年2回開催しました。市職員、区長さんに参加して頂き、行政に対しての家族からの質問や要望等が後家族様よりあり、すぐ対応できる事から実施しました。	運営推進会議は年2回市職員や区長、民生委員、利用者、家族等、職員で開催している。 会議では行事報告をするとともに、委員からの質問や要望を受けたり、課題について話し合い意見交換するなど、運営やサービスの質の向上に活かしている。 運営推進会議の内容を利用者や家族等に公表するまでには至っていない。	運営推進会議は2ヶ月に1回開催することを期待する。 事業所だよりなどを活用し運営推進会議の内容を家族等に報告することを期待する。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の介護保険担当者とは利用者の件やホームの空状況など連絡を密に取っており、常にホームの状況を理解して頂いている。	市の担当者と情報交換会や研修会、介護保険連絡協議会などで定期的に連絡し相談するなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会を開き、拘束についての理解を深めている。玄関の施錠については家族の要望もあり時間帯によってやむをえず施錠している。常に話し合いを行っているが現状は利用者の状況より時間帯施錠せざるを得ない。	全職員が研修などで身体拘束をしないケアを正しく理解し実践に取り組んでいる。 家族等の要望もあり利用者の状況により夕方の時間帯のみ玄関を施錠しているが、管理者や職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、施錠しなくても済むように随時検討している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法に関する理解を深め虐待防止につとめている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在利用している方はいませんが、ミーティング等で資料を配布し学習している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書・契約書を説明する時は、随時質問に答えながら十分に時間をかけて説明しており、理解・納得を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者からは普段のかかわりの中で意見や要望を聞き対応している。又家族会などを通して意見や要望を引き出せるよう配慮している。	玄関に意見箱を設置するほか、家族等の訪問時や家族会を通して意見や要望を引き出すよう配慮している。 重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、家族等に説明している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体ミーティングで意見や提案を出し話し合いをしている。	全体ミーティングや管理者との面接時に、職員の意見や提案を聴き話し合うとともに、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常に職員の勤務体制に無理が無いように勤務表を作成している。又休み（有給）が自由に取れるようにしている。資格手当等厚くして各自が向上心を持って働けるように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時に2週間の新人研修（担当者をつけて）を行っている。又新人研修マニュアルを作成している。随時経験に応じた研修を受講してもらい、研修内容を全体ミーティングで報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	ケアマネの連絡会などに参加しているが、近隣のグループホームとは管理者・一部の職員のみでの交流だけである。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談や通所利用などを通じて、本人の状態を把握し信頼関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居相談時に家族よりこれまでの様子などを伺い、家族の気持ちを受け止め信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談に来られた時、会話の中で家族の方の介護知識を見極め、具体的に必要なサービスの利用方法や対応の仕方をアドバイスしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者から昔の話などを教えてもらったり、気づかしてもらったりしながら和やかに生活を共にしている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族会や行事などに参加して頂き、家族との交流を持ちながら本人に対する家族の思いを共有できるような関係作りをしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	行きつけの美容室や教会へ行くなど、これまでのかかわりを継続している。	職員は利用者の家族関係や友人関係を把握するとともに、利用者の希望にそって行きつけの美容室や教会へ出かけられるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の状況を見守り、かかわり合いを尊重し職員が間に入り関係が上手く行くよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了した家族からの相談を受けたり、ボランティアで来ていただいたりしている。又遠方より訪ねて来てくれる家族もいる。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人のつぶやきや言動から意向の把握に努め、カンファレンスにて意見や気づきを話合っている。	職員は利用者の生活歴を把握するとともに、日常のふれ合いの中から利用者一人ひとりの思いや意向の把握に努め、会議で確認し全職員で共有している。 意向の把握が困難な場合には、表情などを観察し意向を押し量り利用者本位に検討している。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にこれまでの生活の様子を伺ったり、入居後も本人や家族から聞いたりしている。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活のリズムを把握し、能力に応じた対応に心がけながら出来る力を引き出している。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意向に基づいてアセスメントを行い、カンファレンスで話し合い介護計画を作成している。アセスメントとモニタリングを定期的に行い状態の変化や認定期間に応じて随時見直しを行い介護計画を作成している。	利用者や家族等の思いや意見を取り入れたり、より良く暮らすためのアセスメントを行って介護計画を作成するとともに、定期的にモニタリングをしている。 心身の状況に変化が生じた場合は、その都度見直している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の暮らしの様子や本人の言葉などを記録に残し、情報を共有している。又意向の確認が出来ない利用者は、日々の記録を介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院介助や外泊時の送迎などを行っている。また利用者の要望を取り入れ同一敷地内のデイサービス利用者とは交流している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の食堂に外出に出かけたり、近所の商店や小学校に出かけたりしている、又公民館で行われている健康いきいき体操にも参加したりしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者・家族の希望を確認した上で、かかりつけ医療機関に受診している。	利用者や家族等の希望するかかりつけ医に受診できるよう支援している。 基本的には家族等が付き添い受診をしているが、家族等の都合により職員が付き添い受診をしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師を配置しており、普段のかかわりの中で気づいた事や本人の訴えなどを看護師に伝え、状況を把握し受診している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報提供を行い、定期的に面会に行くなどして担当看護師からの病状の説明を受けるなどして、早期退院に向けての連携を図っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>本人・家族と話し合いながら状態に応じて職員間で対応方針について検討している。又受診の際主治医に状況を伝え指示を仰いでいる。</p>	<p>重度化した場合のマニュアルを作成し、利用者や家族等と話し合いながら状態に応じて取り組む体制となっている。</p> <p>利用者の状況に応じて主治医の指示を仰ぐなど協力を得ている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当マニュアルに基づいて、看護師の指導を受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を実施している。又民生委員の方にも声をかけ地域の協力が得られるように努めている。</p>	<p>年2回定期的に避難訓練を実施しているが、地域の人々の協力を得るまでには至っていない。</p>	<p>地域の人々の協力が得られるよう、運営推進会議などで働きかけることを期待する。</p> <p>夜間の災害を想定した避難訓練を実施することが望まれる。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりに対する対応が共有できるようマニュアルを作成し誇りやプライドを損ねないよう配慮している。又秘密保持の徹底に努めている。	全職員が利用者一人ひとりの対応を共有できるようマニュアルを作成し、誇りやプライドを損ねないよう配慮している。 写真等の掲示は家族等の承諾を得ている。 書類等は人目に付かない場所に保管している。			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の表情や仕草、つぶやきなどから思いを把握し、利用者が自己決定出来るよう利用者の状態に合わせて声かけをしている。				
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	織物や塗り絵、買い物・散歩など一人一人の思いを尊重し支援している。				
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みやアドバイスによって服を選びおしゃれを楽しんでいる。又なじみの理美容室でカットや毛染めをしてもらっている。				

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と一緒に食事をしたり、食事の準備や片付けを職員と一緒にしている。	献立は利用者の好みや希望に配慮して栄養士が作成している。 利用者と職員と一緒に食事をしたり、食事の準備や後片付けをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がカロリー計算を行いバランスの良い献立作成をし、一日を通して栄養・水分摂取量の把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来る方は見守りや声かけをしながら、介助が必要な方には職員が付き添い義歯の洗浄や口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し、本人に合ったトイレ誘導を行っている。又排泄状況を確認し失禁時の対応など、さりげなく介助している。	職員は利用者一人ひとりの生活のリズムやパターンを把握するとともに、排泄チェック表を利用し時間を見計らってトイレ誘導するなど、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や食物繊維の多い食材を食事に取り入れている。又日中の運動を行うようにしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的には、週2回の入浴となっているが、希望に応じて入浴出来るよう支援している。入浴をいやがる利用者には無理強いせず入浴したい日に入れるよう対応している。又入浴剤などを使いくつろいでもらっている。	基本的には週2回の入浴と決っているが、希望にそって入浴ができるよう支援している。 入浴を嫌がる利用者には無理強いせず、毎日声かけをしながら入りたい時に入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促して生活リズムを整えるように努力している。その他居室の温度管理に注意し布団を干したり、リビング・廊下にはソファを置き、ゆっくり過ごせるように支援している。又オープンデッキで日光浴も楽しんでいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人別内服薬説明書があり、医師の指示通り服薬している。又内服による状態の変化を記録し医療機関への情報提供を行い服薬調整に生かしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事作り・掃除・洗濯物を干したりたたんだり家事を行ってもらい、張り合いの日常生活を過ごしている。随時レクリエーション・買い物・外食などを楽しみながら行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	歩行困難な方は、車椅子を利用しながら日常的に散歩やドライブ等に出かけている。又友人の協力をえて教会へ出かけている。	花見や果物狩り、散歩、ドライブなど季節が感じられ、気分転換ができるよう外出支援をしている。歩行困難な利用者は車椅子を利用し外出支援をしている。利用者の希望で教会への外出支援をしている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者は金銭所持はしておらずホーム立て替えにて後日家族に請求しているが、買い物時には本人にお金を渡し、本人が支払いできるように支援している。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話の利用に制限はなく、プライバシーに配慮しつつ支援している。			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂兼リビングには家庭的な家具を配置し、季節感のある花を飾っている。又自然の光を充分に取り入れ心地よく過ごせるよう配慮している。	季節感のある花を飾ったり、日当たりの良い居間にソファを設置し、利用者がゆっくり過ごせるスペースをつくっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室やソファで利用者同士がゆっくり出来るようなスペースがある。又廊下の隅には一人になれるようソファを置いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具類を持ち込み、利用者・家族と相談しながら今までと変わらない生活空間作りを心掛けている。	居室はテレビや箆笥、使い慣れた家具が持ち込まれたり、家族等の写真が飾られ居心地よく過ごせる場所となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者の状態に応じて、トイレ近くの居室にしたり、自室がわかるよう馴染みの物を入り口飾ったりしながら混乱を防いでいる。又他利用者に入室されないよう簡単な施錠をして安心してもらえるようにしている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームこころ

作成日 平成21年11月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を2ヶ月に1回開催できていない状況にある。	2ヶ月に1回を目標に定期的に開催できるようにする。	出席者メンバーへ年間の開催計画予定を配布し、その都度連絡・調整を行い開催していく。	12ヶ月
2	35	災害対策	夜間の災害を想定した避難訓練を実施する。	運営推進会議等で働きかけ、地域の方々の協力を得ながら実施できるよう取り組んでいく。	6ヶ月
3	14				
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。